

## 第2回「第五次総合計画策定に係る意見交換会（総務委員会所管）」会議録

### 1 開催日時

平成25年1月18日（金）

開会 午前9時30分

閉会 午前11時05分

### 2 開催場所

尾張旭市役所5階 第2委員会室

### 3 出席者

（市議会議員 6名）

片渕 卓三、武田 なおき、秋田 進、岩橋 盛文、早川 八郎、山下 幹雄

（市職員 29名）

消防次長兼消防署長 松原 孝光、総務課長 大脇 伸雄、総務課主幹 森下 雅浩、

総務課長補佐 八野井 聡、予防課長 森下 初男、予防課長補佐 朝見 浩二、

消防署長補佐 近藤 好昭、消防署消防司令補 福士 貴治、

情報課長 小池 勲、秘書課長 太田 浩、人事課長 戸田 元、企画課長 若杉 浩二、

行政課長 河村 晋、財政課長 野村 孝二、収納課長 萬谷 久幸

### 4 欠席者

なし

### 5 傍聴者数

0名

### 6 出席した事務局職員

（議会事務局）

議事課長 志村 俊一

（市職員）

企画部長 川原 芳久、企画部企画調整主幹 石坂 清二、

企画課長補佐 白井 武男、企画課主査 久野 善之、企画課主査 中川 暢顕

### 7 議題等

(1) 施策体系・成果指標（案）について

(2) その他

## 8 会議の要旨

企画部主幹	<p>おはようございます。</p> <p>本日は、お忙しい中、総務委員会所管の第2回「第五次総合計画策定に係る意見交換会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから始めさせていただきます。</p> <p>まず、開催にあたりまして、企画部長よりごあいさつ申し上げます。</p>
企画部長	<p>本日は、ご多忙のところ、第2回「第五次総合計画策定に係る意見交換会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>今回の意見交換会では、次第でございます「施策体系と成果指標（案）について」のうち、総務委員会の所管である、施策4-2【消防救急体制の充実】と政策8【行財政運営】についてご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
企画部主幹	<p>それでは、本日の進行について説明させていただきます。</p> <p>本日の意見交換会は、総務委員会所管の「施策4-2 消防救急体制の充実」と「政策8 分野横断的なまちづくりと市政運営」について、「施策-基本事業設定シート」に対して、ご意見やご質問をいただくものです。</p> <p>進め方につきましては、事前にいただいた質問について、施策の順番に質問を読み上げ、質問者の委員からの補足説明を行い、担当課から回答を行います。</p> <p>最後に、本意見交換会は、記録をとり、その要旨を議員の皆さまにお知らせするほか、市のホームページで公開してまいりますので、あらかじめご承知おきいただきますようよろしくお願いいたします。</p>
企画部主幹	<p>それでは、本日の議題に移ります。</p> <p>次第1「施策体系と成果指標（案）について」です。</p>

ここから、事前に提出された質問に対し、各施策の主管課長・関係課長が回答、説明。

なお、総務委員会所属の議員以外からも質問を受け付けており、事務局にて読み上げ、主管課長・関係課長が回答・説明を行っていますが、議員からの追加の発言は認めていません。

### 【施策4-2 消防・救急体制の充実について】

早川議員	<p>施策-基本事業設定シートのうち、④-1第五次総合計画期間における環境変化で「東日本大震災により、震災の被害想定算定の考え方が変更され、尾張旭市においても、被害想定が現在より大きくなる可能性があります。」とありますが、被害想定算定の考え方とは、具体的にどのような考え方でしょうか。また、その考え方の変更によって、どのような方向へと変わっていくのでしょうか。</p>
総務課長	<p>被害想定算定の考え方について、現在の尾張旭市地域防災計画では、東海・東南海連動地震について、M8.7の地震で、本市の震度は、5強から6弱を想定しています。この地震による人的被害は、死者0人から1人、負傷者100人、建物被害は全壊79棟、半壊642棟と想定しています。</p> <p>東日本大震災が広範囲で連動した地震であったことから、東海・東南海・南</p>

	<p>海地震が連動した場合の震度想定が、今年6月に愛知県から公表される予定です。これを受け、本市の被害想定を見直す予定としています。</p> <p>なお、被害想定の変更に伴い、震度や被害想定が大きくなったとしても、消防の果たすべき役割に変更はありません。しかし、訓練の想定の変更や必要な装備の検討など常備・非常備の消防力の強化が必要になると考えています。</p>
早川議員	<p>④－2施策の課題に「救急出動の増加に対し、救急車の適正利用が求められます。」とありますが、この課題は具体的にどのように検討していますか。</p>
総務課長	<p>救急車の適正利用とは、タクシー代わりに救急車を利用することを避けていただくというものです。当面は、より多くの機会を利用して、繰り返し啓発を進めていきます。また、健康課が作成した「こどもの救急ハンドブック」を普及させることなども効果があると考えています。</p> <p>単独では困難と思いますが、将来的には、救急車を呼ぶべきかどうかを相談できる電話案内などの仕組みができればよいと考えています。</p>
武田議員	<p>「基本事業02 消防力の強化」について、消防団員を確保するための具体策について伺います。</p>
総務課長	<p>各分団において各地域で適任者を探し出し勧誘することで、なんとか定員を確保しています。市としては、広報誌への記事掲載や成人式でのチラシの配布などの側面支援を行っています。また、本年度からは、分団長などが退団した後に支援員として再入団していただき、一時的な団員の不足分を補う活動を行っています。</p>
武田議員	<p>今後も、消防団の充実が必要となっていくので、市民にこれらの活動が浸透していくことが望ましいと思います。</p>
総務課長	<p>第五次総合計画において、新たに、消防団員の充足率を図る指標を追加しており、その推移を注視していきます。</p>
武田議員	<p>「基本事業03 救急救助体制の充実」について、消防署員の具体的資格名や研修名、消防署員の訓練項目について伺います。</p> <p>地震の新たな被害想定が示された後、必要な訓練や研修が受けられる体制を作っておくことが必要と考えており、10数年に1度のことからといって、疎かにすることはできないと思い質問するものです。</p>
総務課長	<p>訓練や研修等については、多岐にわたるため、別途資料にて説明。</p>
武田議員	<p>資格の取得については、公費で取得しているのですか。</p>
消防次長	<p>大型免許については、自動車運転免許であるため自費での取得とし、今年度からその費用の一部を市で補助している状況です。</p>
企画課長補佐 (大島議員)	<p>B表、「基本事業02 消防力の強化」の成果指標の中で、消防職員・消防団員の充足率が指標とされていて、分母となり得る「充足数」が変動しにくいもの、変動しやすいもの等、理由がおありになるとは思いましたので、どちらにしても、充足数を付記しておくことで、読んでも理解しやすいのかなと思い、ご提案です。</p>

総務課長	尾張旭市出動要綱に基づき算出した消防職員の充足数は87名、消防団員の定数を定めた条例の充足数は129名となっています。どちらも変動しにくい数値ですが、数値の記載を行うかについては、事務局と相談し検討したいと考えています。
片渕議員	「基本事業02 消防力の強化」の基本事業の対象欄において、第四次総合計画からの変更点として消防署が削除されていますがなぜでしょうか。
総務課長	本基本事業では、消防職員や消防団員、施設の充実を行っていくことを想定しており、言葉の整理を行ったもので、意図が変わるものではありません。
武田議員	消防職員が、参加している研修等は官製研修のみでしょうか。自主的に参加する研修もあるのでしょうか。
消防次長	救急業務に関しては研修が多く、遠方で開催される研修に公費で参加していますが、自費で他県の研修に参加することもあります。また、個人的に研修に参加する場合は、非番や週休の際に参加しています。
早川議員	大島議員の質問について、再度詳しく説明をお願いします。
総務課長	消防団員の充足数については、尾張旭市消防団条例に定められており、団長1名、副団長2名、各分団21名×6分団＝129名が定数と定められています。
<b>【施策8-1 開かれた市政の推進について】</b>	
早川議員	<p>全体的な考え方の方向を意図として質問します。</p> <p>IT機器を用いた「横断的なまちづくり」が中心のような施策になっているような気がしますが、将来を考えたときに「人と人のふれあいから生まれる横断的なまちづくり」を連想するような施策が、この中心にあってもいいのではないかと考えますが、いかがお考えでしょうか。</p> <p>文章全体からインターネットなどについて記載があり機械的な印象を受けたが、人と人とがふれあうことが必要と考えたので質問しました。</p>
情報課長	<p>第五次総合計画では政策が8つに分かれており、それぞれの政策を推進していくことで、将来の都市像である「みんなで支えあう 緑と元気あふれる 住みよいまち 尾張旭」の達成を目指しています。</p> <p>その中で、施策8-1については、市政情報の発信や市政への市民の参加を意図しているものです。提供していく情報の中には政策1から政策7に関する情報が含まれており、分野横断的に発信することを考えています。</p>
早川議員	情報発信の仕方が、インターネットや紙、データでの提供のみに感じてしまい、市長が市民とふれあうことが必要ではないかと考えて質問したものです。
情報課長	<p>本施策の基本事業では、広報に関する部分と公聴に関する部分に分かれて記載されています。具体的には、「基本事業02 広聴機会の充実」において、広聴の手段として、ヨッシーの現場訪問の新たな実施や市長を囲むこども会議を継続しています。また、現場を大切にするという市長の考えから人と人のふれあいを重要視しています。</p> <p>なお、施策の中では、ICT技術による情報発信と公聴を優先度を付けて区</p>

	別しているものではありません。
早川議員	<p>④－１第五次総合計画期間における環境変化について、「高齢化の進行とICTリテラシーをもつ市民が増加することにより、広報の媒体が紙、インターネット等、さらに多様化していきます。」とありますが、「ICTリテラシー」のような分かるかたにしか分からないような表現は、変えた方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>ICTの「C」は、コミュニケーションの「C」なのに難しい言葉で、果たしてコミュニケーションが図られるのでしょうか。本当に横断的なまちづくりを幅広くしていくつもりなのでしょうか。必要以上に難しい言葉を資料に使わないほうがいいのではないのでしょうか。特に高齢化の進展を環境変化で分析しているにも関わらず、難しい言葉にすることはどうかと思います。</p>
情報課長	公表にあたり、できるだけ分かりやすい言葉や表現に変更します。
企画課長補佐 (森議員)	<p>「基本事業04 市の魅力の発信」について、新設された項目ですが、名称を「市の魅力の熟成と発信」とした方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>市民等に魅力についてアンケート調査をするようですが、その結果を踏まえ、さらに魅力を熟成させることも盛り込むべきではありませんか。</p> <p>他の政策との関連も出てきますが、市の10年間を見据えた、市をいかに活性化させるか、どう発展させるのかが重要な課題ではないのでしょうか。</p>
情報課長	<p>基本構想に基づき、全ての施策を着実に進めていくことが、市の魅力を熟成させていくことにつながっていくと考えています。</p> <p>例えば、健康都市施策やその他施策について、発信していくとともに、市が潜在的に持つ魅力を発信していくことも必要と考えています。</p>
企画課長補佐 (大島議員)	B表、「基本事業02 広聴機会の充実」、「基本事業03 情報公開と個人情報保護」について、成果指標に関わるかと思いますが、「会議等を公開している」とセットで、事前に会議日程等が告知されているなども必要と考えます。指標として一つ項を立てるべきかどうかは検討いただくとして、この視点を活かした運営をよろしく願いいたします。
行政課長	<p>会議日程の公表の告知を成果指標にすることは考えていません。ただし、会議の公開基準に基づき、公表を行うと決定した会議については、10日前までにホームページで公表することと決めております。</p> <p>公開の対象となる会議がどの程度あるのかを図ることが、開かれた市政につながるものと考えています。</p>
山下議員	「基本事業01 行政情報の提供」の成果指標について、「ホームページなど、インターネットを活用した情報の提供に満足する市民の割合」とありますが、CATVやコミュニティFMなどの情報提供による成果はどのように判断するのですか。
情報課長	CATVやコミュニティFMについては、具体的に成果指標に掲載されてはおりませんが、「広報誌を始めとした行政情報の提供に満足する市民の割合」

	<p>に含まれています。この成果指標については、市民アンケートによって満足度を図ることとしており、アンケートの実施にあたっては、市民の皆さんにより分かりやすいものとしたいと考えています。</p>
山下議員	<p>「基本事業03 情報公開と個人情報保護」の成果指標「会議を公開している附属機関等の割合」について、非公開の会議を分母に入れたことにより数値判断に誤解が生じないでしょうか。</p> <p>非公開の会議が増えることで数値が下がることとなり、市民が誤解を招くことになりはしないかと思えます。</p>
行政課長	<p>第四次総合計画までの指標では、公開している会議を分母としており、常に100%となる指標でしたので、市の会議のうち個人情報を取り扱う会議がどの程度あるのかを市民の皆さんに知っていただくことが必要と考え、指標を変更したものです。なお、目標値の設定については、会議の構成等によって変わってくるものであり、今後検討が必要となると考えています。</p>
<p><b>【施策8-2 行財政運営の推進について】</b></p>	
早川議員	<p>④-2現時点での課題について、老朽化した公共施設の改修とありますが、現時点において具体的にどの施設を対象にしていますか。</p>
企画課長	<p>本市の公共施設は、市制施行前後の人口急増期に急ピッチで整備を進めてきたものです。これらの施設の多くは築後30年以上を経過している状況にあり、メンテナンスを行う必要性が高まっていることを課題として掲げたものであり、特定の施設の改修を意図したものではありません。</p>
企画課長補佐 (大島議員)	<p>「基本事業04 広域行政の推進」について、「広域連携の結果、効率的かつ利便性の高い市民サービスの提供」を意図としているものの、成果指標では、連携の結果がどうであるかに関わらず、「共同処理しているサービス件数」として連携の件数だけがカウントされ、成果指標としては大雑把なものと感じました。</p> <p>連携の結果、効率的かつ利便性が高くなったとの結果の分析はどのような指標で成果とみるのか、検討の余地があると感じました。ベストではないかもしれませんが、ひとつの提案としては、市民の実感をアンケートで伺うなどがいいのかなと思えます。</p>
企画課長	<p>この成果指標については、他市においても総合計画で成果指標としており、広域的に受けられるサービス件数を指標としている市町とアンケートで満足度を取得している市町のどちらも存在します。</p> <p>ただし、広域的に受けられるサービスには、図書館の広域貸し出し利用など市民に身近なものから、一部事務組合など重要性は高いものの、市民に広域的な行政サービスと理解していただきにくいものも含まれます。このことから、市民アンケートで満足度を取得することは難しいと考えています。</p> <p>仮定の話ではありますが、今後施設の広域利用などが進んできた折には、議員が提案された指標に変更することも考えられると思えます。</p>

【施策 8-3 組織・人事マネジメントの充実について】

早川議員	<p>①第四次総合計画の中間評価において、現在の施策成果に至る原因の中に「個々の職員の資質による部分が大きく、市民への満足度に結び付いていないと考えられます。」とありますが、「職員の資質」とは具体的に何を意味していますか。性格でしょうか、人柄でしょうか、その他でしょうか。</p> <p>また、市民は、どのような職員の資質を満足度に求めているのでしょうか。そのあたりを具体化しない限り、永遠のテーマ（単なる資質で問題を解決しています）になってしまいますが、いかがお考えでしょうか。</p>
人事課長	<p>一般的に資質とは、生まれつきの性格や才能が思い浮かびますが、ここでは市職員としての職務能力を想定しています。</p> <p>本市では、人材育成基本方針において、「かわる・いどむ・のびる」をキーワードとして掲げており、重点的に育成すべき能力・意識として、政策を決定する能力、折衝能力の向上ほか、市民意識を持つことや公務員としての倫理観の醸成などを行っています。</p> <p>また、市民の求める資質は多岐にわたっており、窓口業務では、市民対応や接遇の能力が、相談業務においては専門能力が求められていると思います。</p>
企画課長補佐 (森議員)	<p>「基本事業04 安全衛生の充実」について、名称変更されていますが、基本事業の意図からすれば安全衛生の確保の方が適切ではないでしょうか。</p>
人事課長	<p>基本事業の意図から考えると安全衛生の確保のほうがふさわしいと考えられますが、確保では現状維持と捉えられてしまうと思い変更しました。</p> <p>ただし、安全衛生の確保という文言が市民の皆さんに理解していただけるのであれば、検討して変更することも考えていきたいと思えます。</p>
武田議員	<p>「基本事業01 組織力の向上」について、組織内評価はあるが、市民及び外部評価は考えていないのでしょうか。</p>
企画課長	<p>第四次総合計画では、市民に分かりやすい組織であることを意図として指標を設定していましたが、新たな行政課題への対応などに向け、今後は組織が有機的に機能することが重要と考え、基本事業の意図と成果指標を変更しました。</p> <p>市民にとって分かりやすい組織であることはもちろん重要ですが、市民の皆さんから見た行政というのは、個々の行政サービスの担当者や窓口での対応が主だったものとなりやすく、組織が有機的に機能しているかは判断がしづらいのではないかと、又、外部の有識者等に本市の行政組織を評価していただくことは考えていないことによるものです。</p>
武田議員	<p>今まで市民アンケートで捕捉していた、窓口でのたらいまわしに関する項目が、無くなってしまうことを危惧します。指標として無くなってしまうのでしょうか。</p>
企画課長	<p>窓口でのたらいまわしの原因が、組織形態によるものなのか、職員個人の資質によるものなのかは不明確であり、組織力の向上という基本事業の指標には</p>

	馴染まないと考えたものです。
山下議員	施策の成果指標である「市民一人当たりの職員人件費」を削除することについて、変更理由を理解するところもあるが、減少を目標値とする観点から適正の数値を把握するという観点に変更することできませんか。具体的な数値を掲載することで、推移がよく分かり状況の把握に役立つのではないのでしょうか。
人事課長	第四次総合計画において、市民一人当たりの職員人件費の推移をみると、現状値と目標値とのかい離が生じています。これは、職員数を減らしてきているものの、基本構想で定めた目標人口（88,000人）を下回っていることによるものと考えています。 また、人件費が下がることが施策の意図「行政ニーズに対応できる職員・組織になっている」に適っているか疑問があり、成果指標を変更するものです。
山下議員	10年間の長期計画であり正確な人口の推計を行うことが難しいことは理解できますが、社会環境や地域環境の把握につながると考えることもできるのではないのでしょうか。継続的に数値の動きを見ていくことが必要ではないのでしょうか。
人事課長	人件費という観点ではなく、基本事業02の成果指標である「定員適正化計画の定員と職員数の差」によって、定員適正化計画に沿った定員管理を行っており、職員数を持って管理を行うものと考えています。
<b>【計画全体について】</b>	
早川議員	今回の総合計画において、水野市長のカラーを一言（キーワード or 色 or 目玉など）で表すとどんなところになりますか？
企画課長補佐	なかなか一言で表すことは難しいため、3つの観点に分けて説明させていただきます。 1点目は、「本市の将来について」の観点ですが、これは将来の都市像でお示ししたとおり、みんなが思いやりを持ち、それぞれの役割を果たしていくことや、まちの魅力を高め、発信すること等を意図して案を策定したものでございます。 2点目は、「まちづくりの考え方」の観点です。現時点で最終決定したものではありませんが、第四次総合計画にも掲載した「まちづくりの手法」に、市長の思いとして分野横断的な取り組みをこれまで以上に強化することや健康都市の取り組みを継続することなどを盛り込むことも考えております。 特に、分野横断的な取り組みにつきましては、市民ニーズの多様化・高度化などの影響により、新たな行政課題が生じていることを踏まえ、複数の政策にまたがる課題について、分野横断的な取り組みを進めることに注力していく必要があると考えております。そのため、今般、これまでの政策8の名称を変更し、行政課題に対して全庁が効果的に連携して取り組むことを重視した点も、水野市長の独自色と言えると考えております。 3点目は、「総合計画策定の手法」の観点です。「中堅・若手職員によるワー



	キンググループの設置」や「中学生アンケートの実施」などの新しい取り組みは、「将来世代・次世代の計画策定への関与」といった、これまでとは異なる水野市長の取り組みと言えるのではないかと考えております。
早川議員	本来、財政の場面で質問するべきかもしれませんが、あえて総務関連で質問します。お金を使う施策ばかりに感じますが、市独自でお金を生み出す施策はないのでしょうか。このままでは、ゆっくり財政面が右肩下がりになっていくと思いますが、対策は考えてみえますか。
企画課長補佐	<p>総合計画は、総合的かつ計画的に市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針であり、全ての施策を網羅した市の最上位の計画に位置付けられています。</p> <p>議員がご指摘されたとおり、市が行う全ての施策（行政サービス）には費用がかかりますが、行政評価の取り組みを継続し、より一層効果的で効率的な財政運営に努めることを、施策8-2で掲げております。</p> <p>市独自で財源を生み出す取り組みは、これからも継続する必要があると思いますが、起死回生と言いますか、特段の妙案がある訳ではなく、何より大切なことは、地道に行財政運営を行っていくことだと考えております。</p> <p>なお、今後10年間の財政の見通しについては、制度改正の予測ができないので精緻な推計は難しいと考えており、現時点で確定している法改正等を除き、現行制度・現在の経済情勢を基に算出することとなります。現時点では詳細についてお答えしかねますが、急激に財政状況が悪化することはないものの、少子高齢化の進展といった要因から、扶助費の伸びは一定程度見込むこととなります。</p>
早川議員	<p>自治会加入率、高齢化率、財政力指数など、どの指標をみても毎年少しずつ減少傾向にあり、10年まとめて見れば大きな縮小になってしまいます。</p> <p>10年間の第五次総合計画を策定するので、その対策を考えていただきたいと思い質問したものです。</p>
企画部長	<p>これまでは政策が独立していたイメージがありますが、これからは横断的な取り組みを進めていくことで、もっと効果が生まれるのではないかと考えています。お金を増やすことももちろん重要であります。それだけではなく、分野横断的な取り組みなどのその他の工夫も行っていきたいと考えています。</p> <p>また、総合計画を策定するにあたっては、市民の皆さんにそれぞれの役割を担っていただき、みんなで支えあいまちづくりを進めていくことを考えております。若手職員から意見やアイデアを聞くことや、市長が現場に出向き、市民の皆さんにみんなで支えあってまちづくりを進めていただくようお願いをする思いを持って計画策定を進めているところです。</p>
<b>【事前質問以外の質問について】</b>	
山下議員	施策8-1の④-2第五次総合計画における課題として、「近隣市への本市からの転出が多くあり、転入者の増加や定住化のため、本市の魅力さをさらに発

	<p>信することが求められています。」と記載されていますが、裏付けとなる資料について説明願います。</p>
企画部主幹	<p>本市に転入又は本市から転出されるかたの多くは、25～39才の年齢層になります。これは、転勤や住宅購入などの要素があると考えられます。</p> <p>そこで、将来の都市像に掲げた「住みよいまち」をめざし、市民の皆さんが「住み続けたい」、本市を訪れた人が「住みたい」と思っていたくために、まちの魅力を高め、発信することが大切であると考えています。</p> <p>また、本市への転入や本市からの転出の動向としては、近隣市町間での移動が多い状況です。これらの要因を調べるために、昨年12月から転出入されるかたを対象にアンケートを実施し、生の声を集めています。このアンケートを分析することで、魅力を高め、発信していきたいと考えています。</p> <p>なお、裏付けとなる資料については、以前に配布しましたデータ資料をご確認ください。</p>
山下議員	<p>先ほど早川議員からもご指摘があったように、第五次総合計画を成長戦略として、人口流出を食い止めることなどの具体的な記載や数値が必要ではないかと考えています。第四次総合計画では、計画書の中に88,000人という人口が記載されていますが、第五次総合計画ではどのように考えていますか。</p>
企画部主幹	<p>成長戦略という観点で、企業誘致などを進めるといった大きな方向転換は難しいと考えていますが、市の魅力を高めて、市の収入の根幹である税収を確保していきたいと考えています。</p> <p>なお、人口推計については、第四次総合計画では将来人口を機械的な推計結果に基づき算出していましたが、それでは第五次総合計画期間中に人口減少を迎えることが想定されるため、成り行きに任せるだけでなく、市の魅力を高め、転出者を抑制し、転入者を増やすことにより、計画的に人口を伸ばす数値を掲げていきたいと考えています。</p> <p>ただし、現実離れした数値では意味がないと考えておりますので、現実的な数値を算出したいと考えています。</p>
山下議員	<p>機会的に算出した10年間の人口数値についてお聞かせください。</p>
企画部主幹	<p>詳細は現在分析中ですが、機会的に算出したものでは、今後10年間のうちに人口のピークを迎え、急激ではありませんが人口の減少が進むものと考えています。</p>
山下議員	<p>大風呂敷を広げる必要は無いものの、機械的に算出した数値を単に掲載するのではなく、目標人口のような形で計画に掲載して欲しいと思います。</p>
片渕議員	<p>シティセールスという観点で質問しますが、何をもって、市の魅力の発信をされるのか具体的なものがあればお聞かせください。</p>
企画部主幹	<p>現時点では具体的なものは無く、これから検討を進めていくものと考えています。</p>
情報課長	<p>情報の発信という観点では、他市の事例を見てみると、住んでいるかたにと</p>

	<p>っては、大した魅力ではないものの、市外のかたから見れば大きな魅力と映ることもあります。これまでは市内向けに情報発信していたものを、外に向けて発信していくことも必要と考えています。</p>
企画部主幹	<p>他に質問が無いようですので、以上を持ちまして政策8の意見交換を終了させていただきます。それでは、次第2「その他（次回意見交換会の日程）」に進ませていただきます。</p>
企画部長	<p>次回の意見交換会の開催予定でございますが、年度明けの4月頃を予定しております。議題につきましては、基本構想（案）についてご意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
企画部主幹	<p>それでは、閉会にあたりまして、企画部長よりごあいさつ申し上げます。</p>
企画部長	<p>本日は、ご多忙の折、長時間にわたり多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。本日いただいたご意見を参考にさせていただき、必要に応じて計画に反映させてまいりたいと思います。</p> <p>次回の意見交換会は、基本構想（案）についてご意見をいただきたいと思っております。基本構想について事前にご意見等がございましたら、次回までに事務局へお寄せ下さるようお願いいたします。本日はありがとうございました。</p>
企画部主幹	<p>これを持ちまして、総務委員会所管の第2回「第五次総合計画策定に係る意見交換会」を終了いたします。ありがとうございました。</p>